

令和元年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会 会議概要

- 1 会議名 令和元年度 第2回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会
- 2 日時 令和2年2月4日(火) 午後2時から午後3時まで
- 3 場所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 宮澤 宗弘会長、永岡 勝委員(代理 清水 齊氏)、  
兵藤 裕一委員(代理 半崎 洋一氏)、坪田 浩明委員、奥山 修司委員、  
藤松 兼次委員(代理 大澤 克己氏)、増田 早苗委員、中村 豊江委員、  
藤岡 嘉委員、山崎 徳昭委員、武井 学委員、笠原 健市委員  
高橋 秀生委員(代理 興 智幸氏)、望月 熙史委員、原田 篤志委員  
荒井 茂委員(代理 若林 正三氏)、二條 宏昭委員、小岩井 清志委員、  
耳塚 喜門委員、滝澤 洋委員、大内 清彦委員、山岸 巖委員、  
西郷 靖純委員、松井 道夫委員、金井 恒人委員、上條 芳敬委員、  
野本 岳洋委員、鎌崎 孝善委員、西沢 剛委員、西村 康正委員  
事務局：野口政策経営課長、蓮井交通政策係長、交通政策係主査丸山
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記者 2人
- 7 傍聴者 1人
- 8 会議録作成年月日 令和2年2月27日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協 議 事 項
  - (1) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会 事業計画(案)について
  - (2) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会 予算(案)について
  - (3) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について
  - (4) 令和2年度 各路線運行計画(案)について
    - ・安曇野市地域公共交通システム(あづみん・定時定路線)
    - ・あづみ野周遊バス
    - ・中房線
- 4 報 告 事 項
  - (1) 部会での検討経過について
  - (2) その他路線運行計画について
    - ・信州まつもと空港シャトル便
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

#### 4 協議事項

(1) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会 事業計画(案)について

【事務局説明】・・・資料1 (P.1)

通常事業に加え、巡回バス実現可能性の研究、安曇野市地域公共交通網形成計画中間評価の実施  
《承認》

(2) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会 予算(案)について

【事務局説明】・・・資料2 (P.3)

主にあづみん・定時定路線の運行事業費。対前年で443千円の減額。  
《承認》

(3) 令和2年度安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について

【事務局説明】・・・資料3 (P.5)

監事の選任。前年同様に長野県松本地域振興局企画振興課長及び安曇野市商工会長に選任。  
《承認》

(4) 令和2年度 各路線運行計画(案)について

【事務局説明】・・・資料4 (P.7～10)

・安曇野市地域公共交通システム(あづみん・定時定路線)

運行は、デマンド式乗り合い運行と、路線と時間を設定した定時定路線の2種類。

運行内容は、デマンド式乗り合い運行すなわち「あづみん」は市内全域で場所から目的地まで乗り合い制により、市内を五つのエリアに分けて交代車両を含む全16台で運行。

運行日は、土日祝日、年末年始を除く平日、運行時間は午前8時から午後5時、運行便としては午前8時便から午後4時便まで。運賃は中学生以上が300円、障がい者の方は100円。令和元年度の利用実績は、4月から12月まで延67,062人と、前年同期(66,233人)829人増。

定時定路線は3月のJRのダイヤ改正によっては定時定路線の運行時間等の変更が必要になる場合あり。

《承認》

・あづみ野周遊バス

【耳塚委員説明】・・・資料5 (P.11～13)

2020年は4月25日から11月29日まで202日の運行。大王わさび農場線は1日6便。バス停名の名称変更「等々力家」→「東光寺東」。西回りちひろアルプス公園線、前半の3便と、後半の2便の経路を変えた。穂高駅発9時25分を始発に3便の13時20分までは、穂高駅から始めちひろ美術館に向かうルート、後半2便について穂高駅を出発して始めにあづみの公園に向かうというもの。理由はちひろ美術館に行く方が多いということでそのお客さんの利便性を考慮した。つまり行きはすぐちひろ美術館に着いて、帰りはちひろ美術館からすぐ駅に着くという運行。運賃について、障がい者の方のお子さんの50%割引、半額割引を導入。

《承認》

・中房線

【耳塚委員説明】・・・資料6 (P.15～16)

2020年は4月24日から11月3日までの運行。停留所「有明山黒川口」の増設。運賃は増税等の理由により100円値上げさせてもらい1,800円、1,300円、600円としたい。

《承認》

## 5 報告事項

### (1) 部会の設置について

【事務局説明】・・・資料7 (P.17)

#### ① 既存の定時定路線の高校生利用状況アンケートの実施について

「豊科～田沢駅便」の利用対象者は、定時定路線の利用率が20～37%と低い傾向。要望内容では「学校近くのバス停設置」「バス増便（現行の時刻表より早いものと遅いものがほしい）」というご意見が多い。

「穂高～明科駅便」の利用対象者は、その利用率が48～66%と比較的に高い傾向。要望内容は現行のバス時刻表より早い16時台の便を希望される意見が多数を占める。今回の結果から、高校生の乗りたい時間帯と現行の運行時刻のギャップがはっきりした。今の時刻表で利用いただいている方もたくさんいるため簡単に時刻表変更というわけにはいかないため増発便を運行する必要がある。また、増発便を運行するには、新たな車両を伴うことにもなり、今後は市の予算対応の検討をしていく必要がある。

#### ② 定時定路線の拡充（主に大糸線西側地域）について

過去に本地域を通過していたバスが撤退したという経過を踏まえた上で考える必要があることから、併せて検討している巡回バスシミュレーションと関連して検討を進めていくこととなる。

#### ③ 市民要望の巡回バスの検討について

市議会一般質問、公共交通に関する出前講座の際の市民意見として「巡回バス」の導入に関する声が多かったことから、その運行の可能性を検証し結果を示していくという協議会の方向性のもと、検討を開始した。

検証のやり方ですが、まずは考えられるバス路線を引き、次に、その路線を通るにはバスをどのくらいの頻度で動かしていくのか、車両がいくつ必要なのか、バス停の数はいくつ必要か、などの運行条件を設定。さらに、その設定により費用試算・運行シミュレーションを行い、負担額の算出とバス運行によりどのような効果や問題点が出てくるのかを洗い出し、そのメリット・デメリットの両方を加味したうえで部会として、バスはどうかという結論を出していく。

また、バスの要望があるということは、当市の現交通体制は市民の皆さんの交通需要に不足しているという状況である。その不足部分はどういうところなのか、それはバスでして対応できないのか違った方法で解決はできないのか、または対応できないのか、このシミュレーション作業を進めていく中で併せて話し合っていく。3案の路線図の運行シミュレーションを報告。

(2) その他路線運行計画について

・信州まつもと空港シャトル便 【小岩井委員説明】・・・別添資料

本路線はFDAのダイヤ改正に合わせて運行時刻を変更している。

2020年もバス時刻が決定次第皆様にお知らせする。運賃は令和2年度も据え置き。

5 その他

基本的には次年度も引き続き委員を引き受けいただきたい。

6 閉 会